

資料 2

新たな福島県商工業振興基本計画の構成(章立て)(たたき台)について

【議題 (2)】

- ① 福島県商工業振興基本計画(以下「産業プラン」という。)の構成(章立て)(たたき台) P3~4について、福島県総合計画(以下「総合計画」という。)との整合性や本県産業の現状・課題、これまで各委員からいただいた意見等を踏まえ作成したところであり、各章の並びや構成について意見をいただきたい。
- ② 第3章の「本県産業の目指す将来像」については、委員からの意見等を踏まえ検討したいので、多くの意見をいただきたい。

各章の位置付け

1 「第1章 計画策定の趣旨」について

次期総合計画との整合性を図り、以下の視点を盛り込むこととする。

- 福島県総合計画の商工業労働及び観光に関する部門別計画であり、中小企業・小規模振興基本条例第9条に基づく基本計画としての位置付け。
- 計画期間は、次期総合計画に合わせて、令和4~12年度までの9年間の計画とし、必要に応じて見直しを行う。なお、中間見直しを行うかについては、次期総合計画に合わせて今後検討。
- 福島県工業開発計画(以下「工業プラン」という。)は、福島県工業開発条例に基づき、工業開発の基本方向を明らかにするとともに、工場の適正な立地を図るため策定され、現行の産業プランの個別計画として位置付けられているところ。新たな産業プランの策定に合わせ工業プランを統合する。詳細はP5~6「福島県工業開発計画の福島県商工業振興基本計画への統合」のとおり。

2 「第2章 本県産業を取り巻く社会経済情勢の変化」について

社会経済情勢や総点検結果等を踏まえ、現状・課題を整理することとする。主な視点は以下のとおり。

- 「1 東日本大震災及び原子力災害からの復興」として、双葉郡の商工会会員の事業再開状況や双葉郡の製造品出荷額等、相双地域の観光客入込数等の復興状況から現状・課題を整理。
- 「3 新たなリスクの発生(令和元年東日本台風の発生や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等)」として、令和元年東日本台風の被害状況や復旧状況、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による県内中小企業等への影響から現状・課題を整理。
- 「2 福島イノベーション・コースト構想の推進」について、現行産業プランにおいては、技術革新等の視点と福島イノベーション・コースト構想の取組を「様々な産業分野におけるイノベーションの加速化」の中で整理していたが、福島イノベーション・コースト構想の重点分野に当部の取組である廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、医療関連、航空宇宙が位置付けられるなど、当部の関わりが大きいことから本項目において現状・課題を整理。

- 「5 様々な産業分野におけるイノベーションの加速化等」として、Society5.0の実現やデジタル技術活用の進展による産業構造等の転換への動き、「福島県2050年カーボンニュートラル」等に関する現状・課題を整理。
- 「8 国際経済の状況」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるサプライチェーンの再構築やオンライン商談の実施など、人の往来や物流の制限による影響から現状・課題を整理。

3 「第3章 本県産業の目指す将来像」について

(1) 基本目標（令和4年度以降の9年間で目指すべき姿）等の策定の方向性

- 新たな総合計画の基本目標を実現するために価値観として位置付けている「誇り」「連携・共創」「挑戦」のフレーズを新たな産業プランにおいても基本目標を実現するための姿勢として位置付け。
- 令和4～12年度までの9年間において、「誇り」「連携・共創」「挑戦」の姿勢を持ち続けながら、新たな産業プランの各施策等に取り組むことで導かれる商工業や観光業等の将来の姿を基本目標として位置付け。

(2) 基本目標や将来像の検討において留意すべき視点（意見いただきたい視点）

現行の産業プランの【基本目標】と《めざす産業の将来像と実現に向けた施策の基本的方向》将来像1～5に、新たに盛り込むべき将来の姿（キーワード等）

- (例)・新たな産業プランでは「復興」に留まらず「発展」や「創生」を目指すべき。
- ・福島イノベ構想の取組は新たな「チャレンジ」になる。
- ・マイクロツーリズムの視点も盛り込むべき。
- ・デジタル人材の目指す姿を記載すべき。 など

※ 意見に当たり、P7「基本目標の策定イメージ図」を参考願います。

4 「第4章 重点施策の展開」について

【議題(1)】(資料1)による

5 「第5章 地域別構想」について

現行の産業プランと同様に県内7圏域ごとの地域別の取組（地域特性、課題、取組等）を記載。

6 「第6章 計画推進のために」について

計画推進に当たっての関係機関の役割や進行管理方法について記載。また、新たな産業プランでは、各施策の実施がSDGsの目標達成への貢献できるようにSDGsの各目標と新たな産業プランの各施策の関連性を整理。